



—淡路の情報いっぱい！生活創造しんぶん—

月刊

ポケットあわじ



淡路こなもん物語

～島のおんな粉もん
こんな粉もん～

VOL.165

もくじ P1 お好み焼き P2 たこ焼き P3 ピザ・にくてん P4 うどん・そばがき P5 たまらん焼き・社交ダンス千秋'ルーフ'
P6 淡路文化会館・淡路消費生活センターからのお知らせ・プラットフォーム淡路島からのお知らせ P7.8 淡路の文化活動・イベント情報

アツアツのお好み
食べらんかあ～

咲咲豚玉



咲咲スペシャル

淡路島産の米粉を入れた生地に

キャベツとネギを混ぜて
焼きます。



おしゃれな店内



咲咲ホルモン焼きそば

お好み焼き

さくさく
咲咲

洲本市桑間821-7 電話 0799-22-2292 営業時間 (月、水～金)11:30～14:00、17:00～23:00
(土・日・祝)11:30～23:00 定休日 毎週火曜日(祝日は営業)

洲本市桑間、桑間橋のたもとにある「咲咲(さくさく)」へお伺いしました。鉄柱の上にある看板がなければ見過ごして通り過ぎてしまいそうです。黒っぽい板張りの店構えで、中に入るまではとてもお好み焼き屋さんだと思えません。店内はひろびろとしていて内装もおしゃれで席もゆったりとしていました。この店は平成14年に開店して13年が過ぎます。店長の大橋太郎さんは洲本市五色町の出身で「咲咲」という店名は店長さんの奥様が考えられたそうで、特に意味はないそうです。

お好み焼きは関西風で淡路島産の米粉を入れた生地
にキャベツとネギを混ぜて焼きます。関西では自分で焼くという店もありますが、ここではすべてを厨房の鉄板でスタッフが焼き、焼き上がってから客席の鉄板へ運ぶ方

式をとっています。お好み焼きや焼きそばのメニューも豊富で、具材をトッピングしていろいろな味を楽しむことができます。イカやエビ、豚肉などの入ったミックス焼きをいただきましたが、大きさも十分あり甘いキャベツにネギの風味が効いてとても美味しかったです。焼きそばにもいろいろな具材をトッピングできるとのこと。また、淡路島ぬーどるを使った「あわじまぬーどる焼き」もあって、広島焼き風で淡路島の食材がたくさん使われており、野菜たっぷり女性にもおすすめです。その他、鉄板で焼くいろいろな肉や野菜など豊富なメニューで、夜の時間はビールやお酒も楽しめそうなお店でした。店内の席数は70席で、40人までの宴会もできるそうです。

(応援隊：田処 壱久)



安心して下さい。
たこの足ですよ。

びっくりぽんなたこ焼き

たまご屋さんちのたこ焼き

洲本市中川原厚浜725-1 電話 0799-28-0850
営業時間 9:00~20:00 定休日 毎週水曜日

淡路島に住んでいる皆さんはたこの足が何本かご存じですよ。正解は八本ですが、そのたこの足八本を全部入れたたこ焼きを食べた事がありますか？丸~いたこ焼きからぶつぶつをついたたこの足がによき~と出ている姿にはびっくりぽん！！な感じです。おまけにトッピングで淡路たまねぎのスライスがのっけていて、これぞ地産地消の王道って感じで更にびっくりぽんです(笑)。

びっくりぽん その1

← たこ焼きから
タコの足がでている！



びっくりぽん その2

たこ焼きのトッピングが
淡路たまねぎのスライス

たこ焼きが
おいしすぎて
びっくりぽん！



国道28号線の洲本市厚浜バス停近くで柿原鶏卵店とたこ焼き販売をしている柿原孝司さんが、32年前に当時大阪で大学生だった頃に起業して淡路島と大阪を往復しながら経営し、国道端でドライブスルー感覚で販売したところタクシーやトラックの運転手さんから重宝がられ、更に美味しいと口コミでファンが増えてゆき、厚浜に美味しいたこ焼き屋があると有名になりました。

たこの足が八本入った「たこ唐たこ焼き」は常連客

のリクエストから8年ほど前に誕生し、最近では島内島外のファンに静かなブームを起こしています。たこと卵をたっぷり使った「たまご屋さんちのたこ焼き」は一度食べたら癖になります。カウンターの奥には25人分の座席もあるので焼きたて熱々のたこ焼きを店で食べてもよし、海を見ながら食べてもよし、たこの足を観察しながら食べても良しで、「たまご屋さんちのたこ焼き」に感動して淡路島を感じてください。その美味

しさにびっくりぽん！！ (応援隊: 田村 ひろ子)

天地の物を大切に
社会のお役に立つ経営

受け継がれる自然の恵み
matsumoto **マツモト産業株式会社**

本社 〒656-0473 兵庫県南あわじ市小井123番地

TEL 0799-42-5000 <http://www.matsumoto-group.co.jp>

マテリアル事業部(石材部・セメント部・コンクリート部)・建材部(建材1課・建材2課)

【マテリアル事業部】
■本社営業部
■神戸営業所
■小野営業所
■九州営業所

【建材部】
■建材1課
■建材2課
■神戸営業所

松網罾を発見しました

石窯ピザ丸

南あわじ市榎列小榎列409-7 ☎0799-20-4092
営業時間 11:30~14:00、18:00~21:00 定休日水曜日



淡路の旬の食材を使ったピザが楽しみですよ(北ター)

数人で行ってシェアしたらいろんな種類のピザを楽しめますよお〜

茶色のコンテナを改装したピザのお店、お店に入ると、タイル張りの薪で火を起こして使う大きなピザ窯が目飛び込んできます。お店の中は明るく、壁には淡路や地元のイベントポスターや情報が貼ってあります。オーナーの西尾さんは、元は酪農家さんでしたが、地元の薫陶の里の夏祭りでピザのお店を出したところ、とても評判がよく「美味しかった！お店出せるで」と褒められ、お店を出すことに。

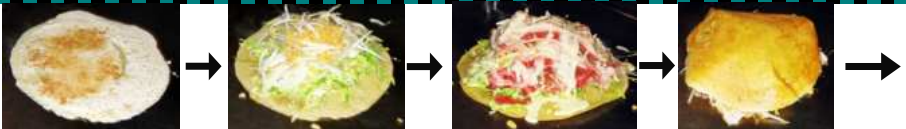
徳島のピザ屋さんで男性二人で飛び込みで入ったらお店の人に「同業者さんですか?」と声かけられ、色々相談に乗ってもらい、トマトソースなどを仕入れる東京の会社を紹介してもらえることになったり、コンテナを使ったお店の設計も知り合いのデザイナーが書いてくれた

り…。オーナーの人柄で協力してくれるたくさんの人に恵まれ開店にこぎつけたそうです。

ピザ生地はイタリアと日本の粉、フランスパンの粉のブレンドだそうです。自慢のピザ窯で焼かれたピザは、まわりがカリッとしていながら、中はおもちりとした食感です。トッピングの種類も豊富なため、あれこれ迷ってしまいます。淡路の旬の食材を使ったピザを「なるほどー」と言いながら食べるのも大変楽しいですよ。

食べログを見たという島外の人もリピーターで来てくれるそうです。ミシュラン兵庫版にも載るぐらい有名になってきました。開店から3年、これからも色々新しいメニューを考えていっちゃるとのこと。とても楽しみです。

(応援隊：村上 紀代美・坂本 厚子・川原 雅代)



薄い生地の上に、キャベツ、タマネギ、モヤシ、天かす、牛肉と順に重ねていき、ひっくり返して卵をポン!

明石焼き



にくてん屋 アザリア



島の食材がまるごと凝縮された「島にくてん」完成

淡路市岩屋2837-7 TEL 0799-72-0121 定休日：木曜日 営業時間 11:30~14:00 17:30~20:00

国道28号線を北上、岩屋の市街地へ入る手前(アソンプレホール前)に「にくてん屋アザリア」さんがいます。店主は、坂本朋之さん。14年前にUターンで淡路に帰って来られ、岩屋でコーヒー豆の製造・販売と共に北淡でカフェを営んでいましたが、3年前に岩屋で同店をオープンし「お好み焼き」や「明石焼き」も作り始めました。

北淡路では、お好み焼きを「にくてん」と普通に食べて、看板にあげているお店もあるようです。「にくてん」は、生地と具材を混ぜて焼きません。薄い生地の上に、キャベツ、タマネギ、モヤシ、天かす、牛肉と順に重ねていきます(野菜がたっぷりボリュームもあります)。生地を少しかけ、ひっくり返して焼きます。そして、卵を一番上に。淡路

牛、キャベツ、淡路タマネギ、卵は甘い淡路産を、ネギは自家菜園無農薬栽培のものを使っています。最後は、淡路島牛乳で溶いたマヨネーズをたっぷりかけます。まさに、店主の想いと淡路島のまるごと食材が凝縮された「島にくてん」の完成です。一口食べると、口の中に「甘さのハーモニー」が広がっていくようでした。坂本さんのマイブームで、この島にくてんにトマト(150円)ととろけるチーズ(150円)をトッピングするとよりトロトロの口当たりとまろやかさが増すそうです。同店では、減塩調理を行っています。珈琲屋さんの「島にくてん」と「明石焼き」を是非味わってみてください。 <会館担当>

※店主さんによると、次期オーナーさんを募集中で、ご連絡をお待ちしていますとのことです。

島にくてん 肉玉 980円(税込) 明石焼 500円(税込) ロイヤルブレンドコーヒー 300円(税込)

あわじのうどん

もちりした麺は、
こだわりの粉から
できています。

淡路島を
もっと
元気に
なりたい

トッピングが
いっぱいあって
嬉しい。

おでん・おにぎり・
鱈の炙り寿司も
ありました！

「淡路島が大好き」からの出発

あわや うどん工房 淡家

1号店: 淡路市中田551-1 ☎ 0799-62-2121

営業時間 11:00~14:30、17:00~20:00 定休日なし

のどかな田園風景

オーナーの田崎健さんにお話をお聞きしました。

讃岐うどんとは違う、大阪うどんでもない
 地元に合わせてうどんを食べて淡路島を元気にしたいと、うどん工房を立ち上げたそうです。もちり感こそ当店のうどんの特徴。もちり感を出すため日本全国的小麦粉から食感を試し、そのうちの2種類の小麦粉を工房で一定の割合にブレンド、塩水を合わせて熟成(1次・2次)→打つ→茹でるまでを開店までに準備します。来客の注文(大・中・小玉)に合わせて湯煎し、出汁(温・冷あり)をかけていくまでがうどん作りの工程です。天ぷら類のトッピングは、セルフサービスです。おにぎりやおでんなどもあり、この日は鱈の炙り寿司もありました。自分の好みで取り終えたところにレジがあります。薬味の葱、生姜、大根おろしは自由にお好みの量を食べられます。旬になれば生ワカメが食べ放題になります。取材当日も11時の開店時刻になると家族連れのお客さんが来店されて、何をトッピングするか相談するなど、「おいしい!」と、あちこちに笑顔が見受けられました。



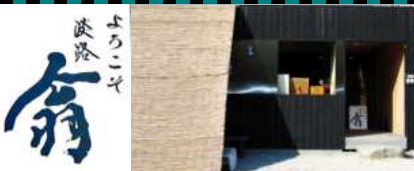
薬味もたっぷりありました。



淡路島をもっと元気に!

もちり感のある自分の口に合ったおいしいうどんを食べて元気を出すのはもちろんのこと、添加物無しの薄味出汁と新鮮な野菜(淡路島産の野菜を厳選)は元気の素です。セルフサービスで低価格。従業員の負担を少なくして、サービスに努め、お客様と一緒に元気になるようにと心がけています。食材は地元で採れたものを中心に使用し、魚は知り合いの漁師さんが捌いて納入、野菜は近くの八百屋さんから仕入れることで地域が元気になるよう願っています。

第1号店(開店6年目)に続き、南あわじ市の第2号店(開店3年目)、大阪に第3号店(開店1年目)を開店し、もちり感のあるうどんをPRし、淡路島を大好きになってもっともっと淡路島に来てほしいと願っています。
 (応援隊: 米田 静子)



絶景を眺めながら
こだわりの蕎麦をたのしむ

おきな 手打ちそば 淡路翁

淡路市小田1157 ☎ 0799-70-4201
営業時間 11:00~15:00 定休日 月曜日(祝日営業)



兵庫県道71号富島久留麻線の途中から道案内の看板に沿って狭い道路を進みます。山あいの大阪湾を見下ろせる絶景の場所に「手打ちそば淡路翁」さんがいます。

店主は、三木大さん。関東のご出身ですが、広島と長野で修業を積まれた後、淡路島を勧められて移って来られました。

お蕎麦屋さんの粉ものといえば、「蕎麦がき」です。作り方は、100%の蕎麦粉を水で練ったものを鍋に入れ、そのまま火にかけてに練りながら固めていくという実にシンプルなもの

です。しかし、少々手間がかかるそうです。ワサビ醤油をつけていただきましたが、そのもちもちとした食感と素朴な味に、なぜか懐かしさを覚えました。そして、「蕎麦がきは、蕎麦粉の味のよさをダイレクトに味わえる」と納得しました。

また、自家で玄蕎麦からぬき実をして、さらに製粉を行っておられ、店主の蕎麦にかける熱い思いがひしひしと伝わってきました。

ゆったりとした空間と時間の中で、蕎麦を味わう「喜び」を感じてみませんか。
 <会館担当>



淡路産の米粉・タマネギ・キャベツ・タマゴで作ったB級グルメ

淡路たまらん焼き

問い合わせ：木村 幸一さん
電話：090-3288-9962

たまらなくうまいから、淡路たまらん焼き！！と思っていたそのあなた、違うですよ。水で溶いた米粉を鉄板に薄くのばし、その上に細切りのタマネギ、キャベツを乗せ、生卵をポンと割り、紅ショウガを加えて焼き、特製ソースをかけたら出来上がり。

淡路市内で写真店を営み、淡路島観光協会副会長も務める木村代表が「うまい、安いご当地グルメを提供したい」と考え、2010年1月10日同市仮屋の事代主神社の十日戎がお披露目日。木村さんは子ども達が「おいしい」とおかわりするのを見て自信を持ったとのこと。食材が豊富な淡路島は、高級な料理も多いが全て島内産の食材で、手軽に作って食べられるもの…。名前は「タマネギ」「タマゴ」「たまらなくうまい」の三つの言葉から由来しています。何とも愉快的なネーミング。淡路産のキヌヒカリの米粉、もちろん淡路タマネギ、キャベツ、北坂卵を乗せて焼いたシンプルなB級グルメ、2枚目がほしくなる味。焼きたてを頬張るとキャベツとタマネギが口の中で交わって甘味を出し、米粉が中でサクサクとした感触を生み出し、まるで音楽会でした。耳からは淡路島タマネギの歌が聞こえ、目には島内の保育園児さんの踊っている映像が映り、まさに淡路島づくしでした。

あっさりしているの、つい「たまらん焼き、もう一枚」と声が出てしまいます。昨年7月には発売から5年半で累



竹谷 店長

つい食べたくなる
たまらん味～

あわじB級グルメ味わい隊



水で溶いた米粉を薄く伸ばす。→タマネギ・キャベツをのせる。→卵と紅ショウガをのせる。→特製ソースをかける。



1枚 250円

計3万枚突破。「素人の発想で始めたが、多くの人に知られるようになった」「淡路牛丼、あわじ島バーガーと並ぶご当地グルメの一品に成長させたい」「安くておいしいものを提供するのも淡路島の誇りになるはず」と話されていました。

2013年12月には東日本大震災で津波に襲われた宮城県七ヶ浜町の仮設住宅でもふるまい、毎年年末にはおもちつきとおもちの配布を同地で続けているとのこと。商品登録もして、現在は道の駅あわじで販売しています。イベント時は出張もしますとのこと。【営業：土・日・祝 11:00～】

(応援隊：岡 まさよ)



今月の生活創造活動グループ紹介

社交ダンス 千秋グループ



月2回木曜日 13:00～16:00

私達社交ダンス千秋グループは、いざなぎ学園終了後、もう少し社交ダンスを習ってみたいと思った者達で結成したグループです。結成後10年余り、今は女性ばかり9名で楽しんでいます。夏の交流会には連続参加し、最後の交流会参加の時には、赤い服のおばあちゃん達が記者の目に留まったのか、サンバのステップのところを神戸新聞に載せていただきました。深草のサロンとの交流も楽しみました。グループの平均年齢も今や後期高齢。叙情歌や懐かしい歌謡曲を聴きながら

ステップを踏んでいます。腰や膝が痛いと言いながら部屋に入って、靴を履きます。曲が流れ始めると不思議と身体が自然に動き出します。踊り過ぎるとハーハーダンス。“でも安心してください。踊ってます社交ダンス”

今は楽しみながら健康寿命を延ばすのが目的です。いつも今日は楽しかった、この歳までダンスができたとは思わなかったと言いながら部屋を出ます。(文責：谷田 和代)



淡路文化会館からののお知らせ (いざなぎ学園入学のご案内・淡路生活創造応援隊の募集)

「いざなぎ学園」平成28年度受講生募集!

淡路島の魅力や再発見ができたり、健康や生活に役立つことが学べます。新しい仲間との出会い、講座での発見が新たな喜びになります。

学校教育法第1条に規定する大学とは異なります。

- ◆募集講座：4年制大学講座(60名：先着順)
2年制大学院講座(30名：先着順)
- ◆講座内容：教養講座(郷土文化、歴史、時事、健康)
専門講座(歴史文化、健康環境)
実技実習講座、学年別講座、
その他(サークル活動、特別講座、
自治会活動)
- ◆対象：概ね60才以上の県内在住の方
- ◆受講料：12,500円(その他自治会費等)
- ◆募集期間：～平成28年4月15日(金)
- ◆応募方法：公共施設等の募集案内または淡路文化会館のホームページをご覧ください。
- ◆問い合わせ先：淡路文化会館(淡路市多賀600)
TEL 0799-85-1391

淡路生活創造応援隊も募集します!!

あなたも生活創造ボランティアに参加してみませんか?

- 主な活動内容：本会館発行の月刊情報誌生活創造しんぶん「ポケットあわじ」に関する取材・寄稿・配布等です。
- 主な活動日：毎月末1回の編集会議
(楽しい賑やかな情報交換の場となっています。)
- 会議の場所：淡路文化会館(淡路市多賀600)
- 募集条件：淡路島内にお住まいの方で、生活創造活動に理解のある方

【問い合わせ先】

淡路文化会館

TEL:0799-85-1391

FAX:0799-85-0400



淡路消費生活センターからののお知らせ

ワンクリック請求にご注意を!

【事例】

パソコンでアダルトサイトを見ていた。内容を良く確認せずに次に進もうとボタンをクリックしたところ「登録完了、3日以内に9万円を支払うように」と画面に表示された。画面から請求画面が消えない。

【アドバイス】

画面の見えにくいところに利用規約が載っている事があります。必ず利用規約を確認しましょう。サイトによっては画面上に「退会はこちらへ」と表示し連絡させるように仕向けている場合がありますので気を付けてください。画面が張り付いた場合は情報処理推進機構という専門機関があります。身に覚えのない請求や、クリックしただけの請求には応じないようにしましょう。トラブルになった場合は消費生活センターへ相談してください。



兵庫県淡路消費生活センター
消費生活相談・多重債務相談
☎0799-23-0993
9:00~12:00 13:00~16:30

淡路島のまち・地域づくり活動を応援する「プラットフォーム淡路島」からののお知らせ

第3回あわじ地域づくりラウンドテーブルのご案内
丹波に学ぶ土砂災害の備え

平成27年8月17日の大雨により兵庫県内に土砂災害等の被害が相次ぎました。その時丹波市市島町が行った「減災・災害復興まちづくり」を学びましょう!

- 1 日時 平成28年2月23日(火) 9:00~18:30
※雨天決行(兵庫県に警報が発令されている場合は中止とします。)
- 2 視察先 ◆丹波市市島町 前山地区(さきやまちく)
◆定員 40名(先着順)
◆参加費 3,000円(交通費・保険代等)



◆集合場所 南あわじ市(円行寺バス停)
洲本市(淡路広域事務組合東側)
淡路市(津名一宮IC)(淡路SA)

※円行寺バス停・津名一宮IC・淡路SAで乗車の方は時間別途通知します。

◆申込締切 定員になり次第締め切ります。

- 3 日程 淡路広域事務組合東側9:00発⇒丹波市市島町
(被災復興現場視察)⇒オアシスいつせ(昼食・研修)⇒
西紀SA(休憩)⇒洲本18:30着予定

【お問合せ・申込先】

淡路県民局県民交流室県民・商工労政課まで
Tel 0799-26-2043 Fax 0799-26-3090
e-mail awajikem@pref.hyogo.lg.jp



施設等	イベント	日時・会場他	料金・問合せ先他
淡路島くにうみ協会 〒656-0022 洲本市海岸通1-11-1 TEL 0799-24-2001 FAX 0799-25-2521	第七回永田青嵐顕彰 全国俳句大会表彰式 及び特別講演会 (第6回淡路島くにうみ 講座) 講演：俳句の言葉 講師：金田一秀穂氏 (杏林大学外国語学部教授)	2/28(日) 14:00~16:40 洲本市文化体育館 300名(※事前申し込みが必要 です。)	無料 【問】(一財)淡路島くにうみ協会 0799-24-2001 0799-25-2521(FAX)
	冬咲きチューリップ ショー開催! ※期間中、4品種620鉢の冬咲 きチューリップを屋外展示	~2/中旬まで 洲本市民広場内	無料 【問】(一財)淡路島くにうみ協会 0799-24-2001
淡路島 国営明石海峡公園 〒656-2306 淡路市夢舞台8-10 TEL 0799-72-2000 FAX 0799-72-2100	きみもみらいの宇宙博士 になれる	~2/29(月) ※2/1・2は休園日、2/3は準 備日 9:30~16:30 ビジター棟	無料 ※別途入園料が必要 【問】明石海峡公園管理センター 0799-72-2000
	季節のクラフトあそび ススキのほうき、小枝の タペストリーづくり、ど んぐりクラフト	~2/28(日)の土日祝 10:00~16:00 ビジター棟	ススキのほうき(200円) 小枝のタペストリー(200円) どんぐりクラフト(100円) ※別途入園料が必要 【問】同上
	駐車場無料キャンペーン	~2/29(月) ※2/1・2は休園日 9:30~16:30 淡路口駐車場(大型車は有料)	※別途入園料が必要 【問】同上
兵庫県立 淡路夢舞台温室 「奇跡の星の植物館」 〒656-2306 淡路市夢舞台4 TEL 0799-74-1200 FAX 0799-74-1201	特別展 淡路夢舞台ラン展2016	~3/6(日) 10:00~18:00 (最終入館17:30)	入館料:大人1,500円、65歳以上 (要証明)750円、高校生750円、 中学生以下無料 【問】淡路夢舞台温室 0799-74-1200
	蘭晚餐会	2/13(土) 19:00~ ※要予約	参加費:15,000円
	K.T.S原種カトレア 愛好会コンテスト	2/22(月)~3/6(日) 10:00~18:00 (最終入館17:30)	入館料:大人1,500円、65歳以上 (要証明)750円、高校生750円、 中学生以下無料 【問】淡路夢舞台温室 0799-74-1200
兵庫県立 淡路景観園芸学校 〒656-1726 淡路市野島常盤954-2 TEL 0799-82-3455 FAX 0799-82-3124	花と緑のまちづくりを学ぼう! 生涯学習講座「平成28年 度まちづくりがーデナー本科 コース(前期)」受講生募集 ※植物の栽培・維持管理、花と 緑のまちづくりの基礎的な知識・ 技術を学ぶ。	期間：4~9月(8月を除く) のうち月3日 募集人員：40人 申込締切：3/11(金)必着	費用：15,700円(実習材料費など 別途) 所定の申込書を同校へFAX等で (応募多数時は抽選)
淡路市北淡歴史 民俗資料館 〒656-1741 淡路市浅野南240 TEL 0799-70-4135 82-2177 FAX 0799-82-2177	企画展 昔のくらし展 ※くらしのうつりかわりの一端 をご覧ください。 昭和20年~40年代の道具など を中心に約60点展示	~3/27(日) 展示館2階 展示室 9:00~17:00 (最終入館16:30)	入館料 大人(中学生以上)210円、 小人(幼児無料)100円 ※ココロカード、のびのびパス ポート利用可 【問】北淡歴史民俗資料館 0799-70-4135 0799-82-2177
淡路人形座 「2月公演」 『戎舞』 『火の見櫓』 〒656-0501 南あわじ市福良甲1528 -1地先 TEL 0799-52-0260 FAX 0799-52-3072	2/1(月)~5(金)、7(日)、8(月)、11(木)~19(金)、27(土)、29(月) 小学生1,000円 幼児300円 10:00、11:00、13:00、14:00、15:00 娘恋緋鹿子 火の見櫓の段 2/6(土) 9(火)、22(月)、28(日) 大人1,000円 中高生800円 小学生600円 幼児200円 10:00、11:00、13:00、14:00、15:00 「人形解説」・「戎舞」 ※上演内容は予告なく変更になる場合があります。ご了承ください。 【2月の休館日】2/3(水)、10(水)、17(水)、20(土)、21(日)、23(火)、24(水)、25(木)、26(金) ※20(土)、21(日)、23(火)~26(金)は出張公演のため臨時休館いたします。	大人1,500円 中高生1,300円 「戎舞」・「人形解説」・「伊達」	

施設等	イベント	日時・会場	料金等
洲本市文化体育館 〒656-0021 洲本市塩屋1-1-17 TEL 0799-25-3321 FAX 0799-25-3325	第15回「農」絵画コンクール ※淡路市、洲本市の小学3~4年生による作品展	2/3(水)~8(月) 9:00~21:00 ※最終日は12:00まで 1Fエントランス	無料 【問】NOSAI兵庫 0799-28-1653
	洲本市老人クラブ連合会 洲本支部第22回ふれあい作品展 ※洲本市老人クラブ連合会会員による作品展	2/4(木)~5(金) 9:30~17:00 ※最終日は15:00まで 会議室1A	無料 【問】洲本市老人クラブ連合会 0799-24-5877
	2015すもとの夕日フォトコンテスト応募作品展 ※火曜日は施設休館日です。	2/25(木)~3/11(金) 9:00~21:00 ※最終日は15:00まで 1Fエントランス	無料 【問】五色総合事務所窓口サビ入課 0799-33-0160
洲本市民工房 〒656-0021 洲本市塩屋1-1-17 TEL 0799-22-3322 FAX 0799-22-3322	手織り絨毯 ギャツペ展 ※現地イランでセレクトしたギャツペ(絨毯)約400枚を展示販売します。	2/13(土)~14(日) 10:00~17:00 3Fギャラリー	入場無料 【問】洲本市民工房 0799-22-3322
洲本市市民交流センター 〒656-0054 洲本市宇原1788-1 TEL 0799-24-4450 FAX 0799-24-4452	洲本市公私立保育所(園) 幼児画展	2/2(火)~21(日) 9:00~21:00 ※月曜日休館 アールギャラリー	観覧無料 【問】市民交流センター 0799-24-4450
南あわじ市 滝川記念美術館玉青館 〒656-0314 南あわじ市松帆西路1137-1 TEL 0799-36-2314 FAX 0799-36-5408	松帆銅鐸展	2/9(火)~21(日) 9:00~17:00 ※入館は16:30まで ※2/15(月)休館	大人300円 高大生200円 小中生100円 ※小中生は「ココロンカード」「のびのびパスポート」利用可 【問】玉青館 0799-36-2314
	平成27年度 館蔵品展Ⅳ	2/25(木)~3月下旬 9:00~17:00 ※入館は16:30まで ※月曜日休館	

平成28年度「淡路島バスツアー助成事業」申請団体募集

- ◆ 内容 貸切バスを利用して「あわじ環境未来島構想」への取組や環境保全への取組を学習するツアーを実施する団体等にバスツアー実施経費の一部を助成。その他、島外からの貸切バスで宿泊を伴う島内周遊ツアーへの助成コースも実施。
- ◆ 募集開始 2月1日(月)~ 随時受付
- ◆ 詳しくは (一財)淡路島くふうみ協会HP参照 <http://www.kuniumi.or.jp/>
 TEL 0799-24-2001 FAX 0799-25-2521



編集
だより

今年の冬は暖かく、梅の蕾も大きく膨らんできています。今月は「粉もん」特集で、応援隊のポケットには淡路島の北から南までのおいしい食べ物の情報がいっぱいです。どの品物も今すぐに食べたくなるように楽しく話されます。私は、皆さんのような「粉もん」の情報はなく、材料も少し違うのですが、1年に5~6回、行事に応じたおもちをついています。(キネではなく機械ですが...) 1月末には寒もち(かきもち)を薄く切って縁に並べて自然乾燥します。その時期にお越しいただいた方は、最初はびっくりしていますが、次年からは「今年も作ったのね」と言ってくださり、もち談義に花が咲きます。これも両親のしていたことを見よう見まねでやっているだけですが、後々にこんなことをしていたなと思い出してくれたらと夢を持ちつつ、老夫婦力を合わせて心のふるさとづくりを目指しています。(廣岡ひろ子)

「ポケットあわじ」は、応援隊の手により取材や編集がされ、毎月3,000部発行しています。そして、島内各市の庁舎・公民館・商業施設など約220カ所に無料配布しています。淡路文化会館のホームページには、カラー版を掲載していますので、是非ご覧ください。また、読者の皆さまからのお便り、情報をお待ちしています。 <http://www.eonet.ne.jp/~awaji-cc/>

(発行) 淡路生活創造応援隊
淡路文化会館

〒656-1521 淡路市多賀600
 TEL 0799-85-1391 FAX 0799-85-0400
 E-mail : a-pocket@hyogo-ikigai.jp

